



西東京の教育

市ホームページアドレス
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/

平成26年(2014年)2月15日発行 第61号

＝発行＝
西東京市教育委員会
〒202-8555
西東京市中町1-5-1
電話 042-464-1311
＝編集＝
西東京市教育委員会
教育部教育企画課

研究指定2年次校

心豊かな子 ～心に響く道徳教育～



道徳の時間の充実を目指した研究授業の様子

○本校では、互いの生命を尊重し、思いやりと規範意識をもち、人としてよりよく生きようとする児童の育成を目指し、心に響く道徳教育の研究を行いました。

向台小学校

○「ハートアップコーナー」を設置し、一人一人が活躍している姿や道徳の時間の振り返りの言葉などを掲示し、児童の思いを全校で共有してきました。

○児童が主体的に考える力を引き出し、高めていくことができるように、プレゼンテーションソフトや電子紙芝居等を活用し、教材の内容を分かりやすく伝えるための工夫をしました。

○話し合い活動を積極的に取り入れ、児童の多様な感じ方、考え方を交流することで、今後の自己の生き方についての考えを深めました。

○資料提示と話し合い活動を研究の視点としながら、各教科等における道徳教育を充実させる取組も行いました。

○今後も道徳の時間の指導の充実をはじめとして、全教育活動で行う道徳教育の観点との関わりを意識した授業を行ってまいります。

つくろう なろう 元気はつらつ たなしの子



健康教育の充実を目指した研究授業の様子

○本校では、体育学習・体育的活動・保健学習・保健指導・安全指導・食育を柱に6分科会を設定し、各分科会のリーダーで「研究プロジェクト」を構成することで、健康教育の充実を図りました。

田無小学校

○児童の定期健康診断・はつらつアンケート・けがの種別統計・体力テストの結果の分析を行い、分科会ごと

○授業以外でも、日常的に運動に親しむために、短・長縄、持久走を取り入れた体育的活動や自己の運動に関する振り返りカードを活用し、体育学習や遊びにつながるように工夫しました。

○今後は、家庭との連携をより深めながら、児童の自発的な運動が定着するように運動の習慣化につながる研究を充実させていきます。

平成25年度

研究指定校発表会

自己を尊重する児童・生徒の育成 ～9年間を通して自尊感情や自己肯定感を高める指導の工夫～



小学生と中学生が合同で実施した地域清掃の様子

○児童・生徒の自尊感情の傾向を把握するため、2年間を通して「自尊感情測定尺度(東京都版)」による調査を実施し、調査を基に、「気付け・認める・認め合

芝久保小学校 上向台小学校 田無第一中学校

う」ための指導の工夫、学習場面の工夫、学習過程・学習形態の工夫の3点に沿って授業実践を重ねました。

○児童・生徒の交流を通じた取組では、夏休みに、2校の小学6年生を対象とした部活動体験を実施しました。また、昨年10月には、中学校の合唱コンクールのリハサルを2校の6年生が参加し、中学生の迫力ある合唱を味わうことができました。12月には、小学生と中学生がグループを組み、地域清掃を行いました。

○自尊感情や自己肯定感を高めることは、校種を超え連続性をもって取り組む課題です。小・中学校の連携の取組を充実させ、自尊感情・自己肯定感を高く育てる授業を行ってまいります。

豊かな心を育てるキャリア教育の推進



キャリア教育の視点を位置付けた授業の様子

○本校では、社会人・職業人として自立していくことができるようにするキャリア教育の研究を行いました。

○日常の授業にキャリア教育の視点を位置付けることで、職業的自立に向けて基盤となる能力の育成を図りました。

ひばりが丘中学校

○校内研修会では、講師の先生から、労働市場の現実を踏まえた進路指導について、話を伺い、理解を深めました。

○研究の成果について検証するために、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力について、生徒アンケートを実施しました。アンケートの結果を今後の授業改善に活かしていきます。

○キャリア教育を意識した授業を行うことは、生徒の学習意欲の向上に大きく関係し、授業改善につながります。今後もキャリア教育を意識した授業を行ってまいります。

本町小学校 科学的な見方・考え方を身に付ける理科・生活科授業の創造



研究授業の様子

○生活科において児童の気付きの質を高めるとともに、理科において自然の事物・現象についての実感を持った理解を図るため、科学的な見方や考え方を養う授業に関する研究を行っています。

○本校では、低・中・高学年のまとまりごとの年間指導計画を基に、児童の発達段階・実態に即した単元計画を作成し、体育科の体づくり運動における研究を進めています。

○教師が意識して言葉かけをしたり、BGMを使用したりすることで児童のやる気スイッチを「オン」にする準備運動を行い運動量を確保することができました。

○今後は、児童が学習にさらに意欲的に取り組めるような言葉かけをしていくとともに、教師からの学習情報の示し方を工夫することで、学習内容の質と効果を高めていきます。

田無第四中学校 生徒一人一人が輝く特別支援教育の推進



理科実験の様子

○「わかる、できる授業」をキーワードに、通常の学級における特別支援教育及びユニバーサルデザインを取り入れた授業に関する研究を行いました。

○校内研修会では、生徒一人一人の学力を伸ばすために教師が指導方法や教材・教具等工夫していることを出し合いました。

○今後、黒板に書く際のチョークの色や文字の大きさ、掲示物を貼る位置など、学校として共通理解を図って、授業におけるユニバーサルデザインを研究していきます。

西東京市の研究指定校9校は、授業公開や研究発表会を行い、その成果や課題などの報告を積極的に行っています。

研究指定1年次校

谷戸第二小学校

運動の楽しさを体感し、意欲的に取り組む体育授業

～体づくり運動に焦点をあて、子供の生活・運動習慣の変容を視野において～

◆教育指導課

042(438)4075



校内研修会の様子